

看護教育入門	1年・前期	1単位 15時間	教授 本吉 美也子他
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31110041

### 1. 授業のねらい・概要

学生が看護学生としての自覚と将来のキャリアデザインを意識するために大学での学びに必要なアカデミックスキルを知り計画的かつ主体的に学ぶことができるようになることを目的とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 仲間と学ぶ意義について述べることができる。(D-1)
2. 保健師・養護教諭の活躍の場について述べるができる。(D-2)
3. なぜ看護職自身の心身の健康が大切なのかについて述べるができる。(D-1)
4. 大学でのノートの作り方やレポートの書き方の注意点について述べるができる。(D-2)
5. 倫理とは何かについて考えることができる。(D-1)
6. 自分の看護のキャリアデザインについて具体的に述べるができる。(D-1)
7. インターネット上で情報をやり取りする時に気をつけることを述べるができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

オムニバス方式により講義を中心に進めるがグループワークを取り入れる。  
学生の主体的な取り組みを期待する。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとしてグループワークの実施レポート作成を行う。

#### 【ICT 活用の有無】

ICT 活用の実施：Google classroom による学習課題の提示。Gmail 等による学習教材の配信。

### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	大学における看護教育とは	講義 演習	予習：テキスト P1～10, 第1編 7・8 を読んでわからない言葉を調べる。 復習：提示されたレポート課題をまとめ提出する。	本吉美也子
2	広がる看護活動の場②：保健師 広がる看護活動の場③：養護教諭	講義	予習：保健師・養護教諭について調べる。 復習：提示されたレポート課題をまとめ提出する。	島田, 佐光恵子
3	看護基礎教育で必要な能力②：看護実践力とクリティカル思考	講義	予習：テキスト第1編 9 第2章 3 を読んでわからない言葉を調べる。 復習：提示されたレポート課題をまとめ提出する。	箕輪千佳
4	アカデミックスキル	講義	予習：テキスト第1編 1・4・6 を読んでわからない言葉を調べる。 復習：提示されたレポート課題をまとめ提出する。	原田桂
5	看護基礎教育で必要な能力③：対人関係力と倫理的思考	講義 演習	予習：テキスト第2編 1・2・4 を読んでわからない言葉を調べる。 復習：提示されたレポート課題をまと	本吉

			め提出する。	
6	看護職のキャリアデザイン 拡がる看護活動の場①：助産師	講義	予習：テキスト第3編 1・2・3・4・5 を読んでわからない言葉を調べる。 復習：提示されたレポート課題をま とめ提出する。	堀金幸栄
7	看護基礎教育で必要な能力①：リ テラシー	講義	予習：テキスト第1編 2・3・5を 読んでわからない言葉を調べる。 復習：提示されたレポート課題をま とめ提出する。	島田昇
8	まとめと試験	講義 試験	予習：試験範囲を学習する 復習：試験問題を振り返る。	本吉

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験(受験資格は3分の2以上の出席した者)筆記試験 20%課題レポート 70%参加態度 10%で評価する。

合格基準(60%)に満たない場合には単位認定できない。評価対象物は「2. 学修の到達目標」に示した達成状況をルーブリック評価表を基に5段階評価で採点する。尚ルーブリック評価表に関する詳細は第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は事前に口頭で提示する。

課題レポートの配点内訳は授業計画における1~7回各10点(4回は5点×2件)とする。

課題詳細・べ切・提出場所等は講義内で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：梶谷佳子, 河原宣子監修:(2026) 看護学生のためのよくわかる大学での学び方, 第3版, 金芳堂.

参考文献：随時紹介する

## 7. 準備学習に必要な時間又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修(学修課題)について最低90分の予習および復習を行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

主体的意欲的な授業への参加が重要である。遅刻欠席および授業中の私語授業中に授業に関連する作業以外の行動は参加態度として評価対象とするので注意すること。

「看護体験実習」・「地区踏査実習」の先修科目である。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックし内容の不備なものは再提出を求める。

試験の解答は試験後口頭などでフィードバックする。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

## 11. 実務経験のある教員等による授業科目

担当する教員は看護師保健師助産師養護教諭として経験豊富な臨床・現場経験を持つ。